

「教員の学びの継続を活性化する研修 -講習連動型プログラムの開発」

調査の概要

◆課題認識

- ・教員の学びに関する情報や課題を教育委員会と大学側とで共有し、効果的・継続的な連携を図る必要がある。
- ・育成指標を基軸とした、研修と講習の体系化を検討する必要がある。

◆調査研究の目的

- ・多様な研修・講習の体系化と魅力的な履修プログラムの開発（遠隔講習の活用法を含む）。
- ・学びの継続のための環境整備やプログラム設計のための検討基盤の構築。

◆調査研究の方法

- ・現職教員の学びのニーズについてのアンケート調査（免許更新講習の必修科目受講者661名を対象）
- ・現職教員の学びへの関与・貢献に関する網羅的調査（静岡大学の教員121名）
- ・オンラインコンテンツ活用に関する試行（免許法認定講習における視聴アンケート、指導主事および現職教員へのインタビュー調査）、先進事例の視察。
- ・静岡県、静岡市、浜松市の教育委員会、県下の教員養成系3大学（静岡大学、常葉大学、浜松学院大学）が協働して、教職キャリア開発に関する協議会を立ち上げ、上記調査の成果や育成指標に基づく研修計画の情報を共有し、課題と展望を議論する。

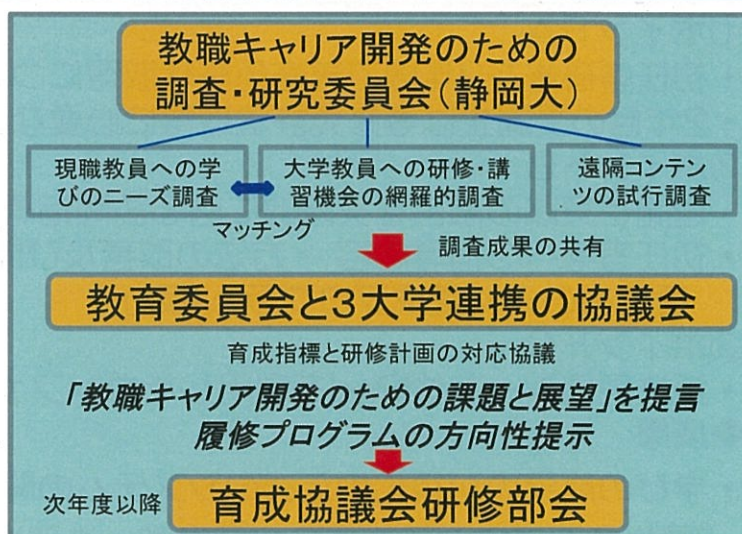
取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- ① 教育委員会と大学との協議基盤の構築
 - ・育成協議会での連携に加えて、研究的な側面からも、教職キャリアの開発に関する総合的な検討を行える体制へ。
- ② 学びのニーズと研修・講習機会の体系化
 - ・大学教員が関与する現職教員の学びの機会について網羅的調査を行い、現職教員の学びのニーズとのマッチングを行い、連動性の高い分野を可視化。
- ③ 遠隔講習に関する教員の生の声を聞く
 - ・オンラインコンテンツの活用についての視聴モニターやインタビュー調査。

◆成果

- ・教員研修についての課題と今後の展望を、教育委員会および3大学の共同で整理し、今後の指針としてとりまとめ、育成協議会研修部会へと引き継ぐことができた。
- ・管理職研修やこども理解の領域については、連動性ある学びの機会を整理し、履修モデルの方向性を見出せた。



今後の課題

◆整理された「教職キャリア開発のための課題」解決のための支援

- ・免許更新講習と教員研修の効率的な接続のための協議と、学びの履歴についての研究。
- ・履修プログラムモデルの精緻化と、その中における遠隔講習の活用法の検討。
- ・オンライン講習と対面授業を組み合わせたブレンド型研修を行うための地域拠点の整備。